

2020年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社ヒガシトゥエンティワン
代表者名 取締役代表執行役社長 児島 一裕
(東証第二部：9029)
問合せ先 常務執行役 田口 宗勝
TEL：06-6945-5611

通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月29日に公表した「2021年3月期第1四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」および「業績予想および配当予想に関するお知らせ」の通期業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	842	900	423	32.79
今回修正予想(B)	23,500	968	1,050	532	40.97
増減額(B-A)	500	126	150	109	—
増減率(%)	2.2	15.0	16.7	25.9	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	25,111	996	1,055	691	53.62

2021 年 3 月期 通期個別業績予想 (2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	750	363	28.09
今回修正予想(B)	17,700	850	429	33.02
増減額(B-A)	200	100	66	—
増減率(%)	1.1	13.3	18.2	—
(ご参考)前期実績 (2020 年 3 月期)	21,891	959	652	50.59

修正の理由

2021 年 3 月期につきましては、2020 年 5 月 25 日に日本全国で緊急事態宣言が解除され、経済活動が早期再開し、物流量も徐々に回復しております。当社グループにおいては自動車関連や半導体関連メーカーの生産減速に伴う物流量減少は続く見通しですが、在宅勤務関連商品を扱う物流センターや、e-コマース向けに開設した門真市の大型物流センターの物流量は想定を上回る見込みとなりました。また、コロナ禍でも高い収益性を実現するために、本社間接費の徹底した抑制や収益性の低い事業のコスト構造改善に取り組んでいます。

この結果、売上、利益共に予算を超過する見込みですので、通期の業績予想を上記の通り修正することとしました。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	0.00	14.00	14.00
今回予想	0.00	16.00	16.00
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	0.00	18.00	18.00

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと考えております。配当につきましては、安定した配当を継続して実施するとともに、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保することを基本としつつ、2020年7月に公表しております中期3カ年経営計画において掲げている配当性向目標水準(30%以上)を考慮したうえで実施していく方針であります。

2021年3月期の期末配当金につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から当社グループ業績が、想定以上に回復する見込みであることから、前回予想の14円から2円積み増しし、1株につき16円とさせていただきます。

以上